

略称周知にポイント

南日本運輸倉庫 シンプルデザイン

設立から46年目となる南日本運輸倉庫（大園圭一郎社長、東京都中野区）は主要14社で南日本グループを構成、そのうちの4社が物流事業を行い、それぞれ得意分野の荷物を取り扱っている。

グループ全体で約3000人の従業員的心を一つにし、対外的にも各社が南日本グループの会社で

あることを示す「ブランド化」を進める意味も含めてトラックのデザインを統一化したという。

商標登録している企業ロゴとMTLSという当社の略称を周知してもらうことにポイントを置いたシンプルデザインだが、「グループ各社のトラックにもロゴマークを載せることで、グループとし

「挑」
独自の視点で、未知に挑戦することが成長だと信じて頑張り続けたい。
南日本運輸倉庫・大園圭一郎社長（東京都中野区）

ての一体感を持たせるようにした。当社の配送員に「南日本運輸倉庫」という会社の看板を背負って

いることを改めて自覚させ、より一層、安全運転に心掛けるよう促すこと、そしてトラック1台1台が会社の広告塔として知名度・認知度を高め、ひいては企業イメージ・ブランド力を向上させていくことを意図している」とし、「南日本グループの認知度をらびにブランド力が

向上することにより、若年層を中心に安定した採用につながれ

ば、という期待もしている」と語る。
（小澤 裕）

